

| | |
|----|------|
| 科目 | 課題研究 |
|----|------|

担当者名 食品デザイン科 有間 安子 飯田 翔和 玉木 武司 坂本 仁司

| | | | | | |
|--------|---|---|---|---------------------------------|---|
| 教科 | 農業 | 単位数 | 2 | 学科・学年 | 食品デザイン科・3年 |
| 使用教科書 | なし | | | 副教材等 | なし |
| 授業の概要 | <p>1 校内での調査・研究・実験、産業現場における実習、農業クラブ活動（プロジェクト学習）について、課題を設定し問題を解決していく学習です。</p> <p>2 課題研究では1人1テーマを設定し、1年間かけて自ら研究を進めていきます。それぞれの活動成果は1月に行う課題研究発表会で発表します。</p> | | | 学習の目標 | <p>1 自ら課題を設定し、問題解決を図ります。</p> <p>2 1、2年生で学習した専門的な知識・技術の進化をはかります。</p> <p>3 研究成果をまとめ、発表することでプレゼンテーション能力を身に付けます。</p> |
| 学習内容 | | | | 評価の観点・評価方法等（※学期ごとに下記の項目で評価します。） | |
| 1学期 | 1 現場実習 食品関連企業での現場実習を1学期に実施します。 | | | 関心・意欲・態度 | <p>【趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験や実習に取り組む姿勢や態度が前向きであるか。また、自ら進んで実験実習に取り組んでいるか。 自らの進路と関連付けて積極的な姿勢で取り組んでいるか。 <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業中の態度、実験への取組、課題・ノートの提出等で評価します。現場実習先で評価をしてもらいます。 <p>【割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 30% |
| 2学期 | 2 各専攻班のプロジェクト学習の内容 (1) 食品製造班 ・地域の農産物を利用した新しい加工品の開発に関する研究 ・地域の農家への農作業体験実習を行い、農家で生産された農産物を使った加工品づくり ・農業の6次産業化へ向けた研究 | | | 思考・判断・表現 | <p>【趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分で課題を見付け、自ら学び、自ら考え、科学的に判断して、よりよく問題を解決できるか。 自分で適切な課題を設定できるか。 課題解決により、自己実現、進路実現に結びつけることができるか。 <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実験実習レポートの所感文やプロジェクト発表への参加で評価します。現場実習先で評価をしてもらいます。 <p>【割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 30% |
| 3学期 | (2) 応用微生物班 ・食品の成分分析や環境問題に関する研究 ・微生物を活用した食品や環境に関する研究 ・天然酵母に関する研究 | | | 技能 | <p>【趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> 製造、実験を行い、基本技術や操作を修得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理しできる。 自分で製造実習や実験実習ができる技術が身に付いている。 <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペーパーテスト、実習実験レポートから評価します。現場実習先で評価をもらいます。 <p>【割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 20% |
| | 知識・理解 | <p>【趣旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分が設定したテーマに沿って研究を行い問題が解決できる。 適切な自己評価が行えるか。 <p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習実験レポート、課題研究発表内容にて評価します。現場実習先で評価をもらいます。 <p>【割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 20% | | | |
| その他 | ・学年の評価は、1学期、2学期、3学期の評価を総合して行います。 | | | | |
| 課題提出物等 | <p>1 毎時間記録簿に内容をまとめ提出します。</p> <p>2 毎時間、目標を設定し、その目標に到達したかどうかを自分自身が客観的に判断し、自己評価を行います。</p> <p>3 1月の課題研究発表会でプレゼンを作成して成果を発表し、レポートを提出します。</p> | | | | |
| 担当者より | <p>1 グループに分かれて課題解決に向けて取り組みます。</p> <p>2 製造、実験部門ともに自分で実験実習の計画を立てます。</p> <p>3 体調を整え衛生的な服装、行動を取り、安全な実習ができるよう心掛けましょう。</p> <p>4 実験、実習では注意力を働かせて細かな観察を行い、気付いたことを忘れずに記録しましょう。</p> | | | | |

